文化



ヴェロニカ・ゲンシツカ「Untitled #5」
（from the Traces series,2015～17年）

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭より
（5月12日まで、京都市内各所）

人生凝縮の瞬間追う

くいったな」とか「あ、それいいわね」といったリアクションがある。言葉の意味はわからないけど、リズムでとらえたり、感情でとらえたりできた。

――主人公は「フランス映画を代表する女優」とか。それはドヌーヴさんを形容する常とう句でもあるが、違う点は？

ドヌーヴ　私とは懸け離れた人物ね。私がエゴイストでないとは言い切れないけれど、彼女はエゴイズムそのもの。対人関係は私と対照的だと思う。特に娘との関係は。

是枝　脚本を読んでもらって「これは私より1世代前の女優ね」と最初に言われた。だからできないのではなく、自分から遠い方がやりやすいという言い方をされた。それで逆に頼みやすくなった。利己的な女優をカトリーヌさんが演じて面白がり、「こんな人」という批評性が入ってくる。

カトリーヌさんを通して感じたのは「み」。パリ育ちともしれないけど、自分はこの主人公とかわせた。毒を持けど、軽やか。識してセリフを――題名通り、役者としての「真実」と思う。でも作るのが仕事で、をつくることで

ドヌーヴ　演はない。セリフ言葉ではない書いたものでど、役者はその言葉に、を乗せ、何かをフランス語で「遊ぶ」と「遊び」詞は同じ。まことは遊ぶことをもつことだ

是枝　真実真実と虚構と立させるのでな、演技を嘘マジックととったり離れたにしようと思

ドヌーヴ　ず説明できる。それをある必要はないでいいものは

――是枝作品優が演じていて見える」と評

是枝　隠しるわけではなチュラルと言違和感がある「それまで

芝居とは　ドヌーヴさん×是枝監督

役に自分注ぐ「遊び」





カトリーヌ・ドヌーヴ
1943年パリ生まれ。10代から映画に出演し、64年のジャック・ドゥミ監督「シェルブールの雨傘」で世界的スターに。「反撥」「ロシュフォールの恋人たち」「昼顔」「終電車」など出演作は100本を超す。

是枝裕和　1962年東京生まれ。早大卒後、テレビドキュメンタリーを手がける。2004年「誰も知らない」で柳楽優弥がカンヌ国際映画祭男優賞。13年「そして父になる」が同審査員賞。18年「万引き家族」が同パルムドール。

私の履歴書

奥正之

⑬

銀行の海外業務が拡大し強硬手段に出た。

異なる債権・債務の相殺は認められません」。会議で私はこう説明した。

それを聞いた幹部の一人は「君が言っているのは法律論じゃないか！」。冷静に反論

米ドル建ての資金を預かっていた。一夫多妻制のお国柄を反映し、口座は亡くなった幹部と第二夫人の共同名義。すぐに遺産争いが勃発した。

第一夫人の代理人が当行に

った」としてプル訟参加してきたのにプルタミナに軍配